

18 ウズラ

(キジ目)

Coturnix japonica

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:無 越冬個体群:A 通過個体群:無

環境省ランク: VU

種の概要

モンゴルからシベリア東部、中国東部、朝鮮半島、日本などで繁殖する。繁殖後は中国南部から日本南部、東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では北海道から本州北部で繁殖し、本州中部以南で越冬する。古くには京都市、三重県などで繁殖した記録がある。平地から山地の草原や農耕地、河原などに生息し、草の実や昆虫類、クモ類、ミミズ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：友田達也

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、★姫路市、明石市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、小野市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、加東市、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○	○	○			○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌5月に記録がある。かつては個体数は少ないものの県内各地で記録されていたが、1960年以降急減した。当時は、毎年1,000羽程の養殖ウズラが各地で放鳥されていた。草むらの繁みに潜んでいることが多いため目撃されにくい。近年、観察記録は極めて減少している。

保護上の留意点

生息環境である牧場、海岸、河川敷の草原、農地周辺の藪などの保全が重要。